



人財に関するポリシー

1. 人財戦略上の優先課題はダイバーシティ&インクルージョン

- ペプチドリームは、ダイバーシティ&インクルージョンを人財戦略上の重要課題として認識し、多様性が競争優位性やイノベーションを生み出し、我々のミッション実現に繋がることを確信しています。
- ダイバーシティには、目に見える性別、国籍、人種、年齢、障がい、宗教等だけでなく、価値観、信念、身体的差異、民族性、経験、背景、性的指向など目に見えにくい多様性の要素を含みます。また、研究開発型のイノベーション企業として、従業員一人一人の有する専門性やサイエントフィックな感性の多様性を大切にします。

2. 全ての人活躍できる環境づくり

- ペプチドリームは、多様な人財がその個性を発揮しつつ、連帯・協力して成果を上げていく組織の実現にコミットし、また従業員にもそのような組織づくりへの貢献を期待します。
- 業務遂行や目標達成、およびそれらを通じた個人の成長を後押しするためのマネジメントとコミュニケーションを促進します。
- 採用・昇進・能力開発・報酬決定は、個人のスキル、経験、成果、適性と成長可能性を勘案して行います。従業員一人一人の会社への貢献を公正に評価します。
- 精神的、肉体的、性的他、あらゆるハラスメント行為を禁止し容認しません。ハラスメントに遭遇した場合、すみやかに会社に報告することを推奨します。
- 健康、安全、環境保護に配慮した職場環境や業務プロセスの実現に取り組みます。

3. 事業遂行のすべての場面で守られるべきポリシーの確認

- ペプチドリームは、①国際人権章典、②ILO 宣言、③ビジネスと人権に関する指導原則を支持し、これらに則って事業遂行のすべての場面において下記を遵守します。
 - ◆ 性別、国籍、年齢、宗教、婚姻状態、性的指向、身体的または精神的障がい、その他法律等で保護されている特性に基づく職場での差別を容認しません。
 - ◆ あらゆる形態の強制労働に反対します。また、児童の福祉を保護し、法的に認めら

れた場合を除き児童の雇用を受け入れません。

- ◆ 「結社の自由」、「団体交渉権」を企業として尊重すべき人権と考え、法の規定に則り従業員のこれらの権利を尊重します。

以上

2019年12月13日改訂